

プログラム

A 会場

9:30-10:30

江橋節郎賞受賞講演

座長：

赤羽 悟美（東邦大・医・生理）



受賞講演 睡眠恒常性におけるカルシウムの役割

○上田 泰己

東大 院医 システムズ薬理学

10：40-12：50

令和6年学術評議員・通常総会
第144回近畿部会学術評議員会
名誉会員推戴式

13:40-14:55

学術奨励賞受賞講演

座長：

三澤 日出巳（慶應義塾大・薬・薬理）



A-1-1

カルシウムマイクロドメインによる血管機能制御機構の解明

13:40

○鈴木 良明

名古屋市立大・院薬・細胞分子薬効解析学

A-1-2

情動制御およびストレス抵抗性におけるセロトニン神経の役割に関する研究

14:05

○永安 一樹

京都大・院薬 生体機能解析

A-1-3

プリオン性タンパク質凝集機構の解明と創薬応用に関する薬理学的研究

14:30

○矢吹 悌

熊大・発生研 ゲノム神経

B 会場

13:40-15:04 一般演題 (口演) 中枢神経①
座長: 野田 幸裕 (名城大・薬・病態解析 I)
座長: 石原 熊寿 (広島国際大・薬・病態薬理)
コメンテーター: 野村 洋 (名古屋市立大・院医・認知機能病態)
コメンテーター: 白川 久志 (京都大・院薬・生体機能解析)



B-1-1 記憶想起を調節するヒスタミン神経活動動態

13:40



○井筒 蓮太郎¹、森下 良一¹、高村 侑希^{1,2}、西村 京華²、横井 雄斗¹、
人羅 (今村) 菜津子^{2,3}、南 雅文²、野村 洋^{1,2}

¹名古屋市立大・院医・認知機能病態学、²北海道大・院薬・医療薬学部門 医療薬学分野
薬理学研究室、³熊本大・院生命科学・(薬学系)薬物活性学分野

B-1-2 ヒスタミンH₃受容体逆作動薬/拮抗薬による大脳皮質広域神経活動の調節

13:52



○貝田 千太郎、高村 侑希、平野 匡佑、森下 良一、野村 洋

名古屋市立大・院医・認知機能病態学分野

B-1-3 神経保護的ミクログリアにおけるTLR4の発現量変化とTLR4下流シグナルの検討

14:04

○神垣 真由美、内園 望未、大堂 翔、石原 熊寿

広島国際大・薬・病態薬理学

B-1-4 卵巣摘出マウスへのエリスロポエチン製剤の投与は、血管新生に影響を及ぼすことなく、運動パフォーマンスを向上させる

14:16

○居場 嘉教¹、山田 幸佳¹、佐和田 真一¹、山田 晋太郎¹、山下 葉平¹、石田 善行²、
中田 大介²、寺尾 啓二²

¹摂南大・理工、²(株)シクロケムバイオ

B-1-5 フェンシクリジン連続投与マウスの社会性および認知行動におけるニコチン性アセチルコリン受容体の役割

14:28

○野田 幸裕¹、内田 美月¹、北垣 伸治²、久島 周³、尾崎 紀夫⁴、吉見 陽¹

¹名城大・薬・病態解析 I、²名城大・薬・薬化学研究室、³名古屋大・医・ゲノム医療セ、⁴
名古屋大・院医・精神疾患病態解明

B-1-6 フルオロクエン酸によるアストロサイトの不活性化がペンチレンテトラゾール誘発けいれんに及ぼす影響

14:40

○國澤 直史、清水 佐紀、大野 行弘

大阪医科薬科大学・薬・薬品作用解析学

B-1-7 アルツハイマー病モデルマウスにおけるミクログリアのカンナビノイド受容体2型を介した神経炎症調節と認知機能改善機序について

14:52

○祖父江 顕^{1,2}、小峯 起¹、遠藤 史人¹、齊藤 祐子³、村山 繁雄^{3,4}、斉藤 貴志^{1,5}、
西道 隆臣⁶、山中 宏二¹

¹名古屋大・環境医学研究所・病態神経科学分野、²名古屋大・環境医学研究所・MIRAIC-未来の医学研究センター、³東京都健康長寿医療セ研・高齢者ブレインバンク、⁴大阪大・大学院連合・子どものこころの分子統御機構研究センター、⁵名古屋市立大・院医・脳神経科学研究センター・認知症科学、⁶理研・脳神経科学研究センター・神経老化制御チーム

B 会場

15:10-16:22 一般演題（口演） 中枢神経②
座長： 山田 清文（名古屋大・院医・医療薬学）
座長： 酒井 規雄（広島大・院医・神経薬理）
コメンテーター： 金子 周司（京都大・院薬・生体機能解析）
コメンテーター： 諫田 泰成（国立医薬品食品衛研・薬理部）



B-2-1 プロポフォールによる小胞体の形態変化と細胞内カルシウム動態

15:10



○野口 颯真、和田 花月、原田 佳奈、秀 和泉、田中 茂、酒井 規雄
広島大・院医・神経薬理学研究室

B-2-2 神経炎症を伴う認知機能障害に対するKir4.1チャネル阻害薬の作用評価

15:22



○石崎 悠斗、清水 佐紀、田原 拓真、妹尾 帆夏、波部 寛和、武藤 瑠里、大野 行弘
大阪医科薬科大・薬・薬品作用解析学

B-2-3 肥満を伴う糖尿病状態のラット脳内におけるオレキシン受容体発現の変動

15:34

○相原 慎和¹、幸田 祐佳¹、松村 人志¹、古川 初花¹、畑 涼子¹、小島 千穂¹、
花本 京香¹、藤岡 央¹、中村 有結¹、田中 早織¹、福石 信之²、加藤 隆児¹
¹大阪医薬大・薬・薬物治療、²金城学院大・薬・薬理

B-2-4 Orexin neurons mediates motivation under reward-based motivational behavior

15:46



○DONG YUTAO¹、溝口 博之^{1,2}、山中 章弘³、山田 清文¹
¹名古屋大・院医・医療薬学講座、²名古屋大・環境医学研究所、³Chinese Institute for Brain Research

B-2-5 妊娠期低酸素曝露はラット大脳皮質内神経の発達に影響を与える

15:58

○徳留 健太郎¹、植木 正明²、本間 拓二郎¹、松永 慎司¹、大野 行弘³、富田 修平¹
¹大阪公立大学・院医・分子病態薬理、²西脇市立西脇病院・麻酔科、³大阪医科薬科大・薬・薬品作用解析学

B-2-6 生後発達期ラットの大脳皮質領域における血液脳関門（BBB）形成段階の分類

16:10

○最上（重本）由香里、北村（中山）貴美子、佐藤 薫
国衛研・薬理

B 会場

16:30-17:42

一般演題（口演） 中枢神経③

座長： 橋本 均（大阪大・院薬・薬理）

座長： 古屋敷 智之（神戸大・院医・薬理）

コメンテーター： 吾郷 由希夫（広島大・院医・歯・細胞分子薬理）

コメンテーター： 永井 拓（藤田医科大・精神・神経病態解明セ・神経行動薬理）



B-3-1 マウスの慢性社会ストレスによる行動変化には好中球動員が重要である

16:30



○久末 敏博¹、祝 晴¹、石川 由香¹、加藤 太郎²、石井 慎一³、片山 義雄³、田井中 一貴⁴、山口 勇太¹、篠原 亮太¹、古屋敷 智之¹

¹神戸大・院医・薬理、²住友ファーマ、³神大病院・血液内科、⁴新潟大・脳研・システム脳病態学

B-3-2 マウスの慢性ストレスによる骨髄・脾臓での遺伝子発現・細胞組成・脂質メディエーターの変化

16:42



○堀川 伊和¹、永井 裕崇¹、谷口 将之¹、陳 国威¹、篠原 正和^{2,3}、鈴木 知秀⁴、石井 慎一⁴、片山 義雄⁴、北岡 志保⁵、古屋敷 智之¹

¹神戸大・院医・薬理学、²神戸大・院医・分子疫学、³神戸大・院医・質量分析総合センター、⁴神戸大・医学部附属病院・血液内科、⁵兵庫医科大・医・薬理学

B-3-3 背側縫線核セロトニン神経の活性化は悲観的な意思決定を改善した

16:54



○野口 拓馬¹、安藤 千紘¹、西谷 直也²、白川 久志¹、金子 周司¹、永安 一樹¹

¹京都大・院薬・生体機能解析学分野、²金沢大・院医薬保健・薬理学研究室

B-3-4 幻覚薬DOIを用いたマウス大脳皮質におけるメゾスケールのカルシウムイメージング

17:06

○新谷 勇介¹、中井 信裕¹、早田 敦子^{2,3,4}、橋本 均^{2,3,5,6,7}、内匠 透¹

¹神戸大・医学研究科・生理学分野、²大阪大・院薬・薬理、³大阪大・院歯・薬理、⁴大阪大・院医・連合小児、⁵大阪大・データビリティフロンティア機構、⁶大阪大・先導的学際研究機構、⁷大阪大・院医・薬理

B-3-5 FADS1/2 遺伝子欠損による双極性障害モデルマウスの表面妥当性と神経機能の評価

17:18

○窪田 悠力¹、Hadler Sristy²、河谷 昌泰²、衣笠 智裕³、周 昕竹¹、張 心健¹、坪井 大輔⁴、毛利 彰宏⁵、吉本 潤一郎³、貝淵 弘三⁴、岩田 伸生⁶、山下 貴之²、永井 拓¹

¹藤田医科大・精神・神経病態解明センター・神経行動薬理学、²藤田医科大・医・生理学II講座、³藤田医科大・医・医用データ科学講座、⁴藤田医科大・医科学研究センター・神経・腫瘍のシグナル解析プロジェクト、⁵藤田医科大・院保健・レギュラトリーサイエンス、⁶藤田医科大・医・精神神経科学

B-3-6 Phosphodiesterase 4D のアロステリック阻害は学習によって活性化されるシグナル経路と関連した記憶亢進作用を示す

17:30

○神尾 航平^{1,2}、宮本 啓補¹、蒲原 智絵¹、畝村 千恵¹、吾郷 由希夫²、堀口 直剛¹

¹塩野義製薬・NS 3G、²広島大・院医（歯）・細胞分子薬理

C 会場

13:40-15:04

一般演題（口演） 循環器

座長： 西山 成（香川大・医・薬理）

座長： 山村 寿男（名古屋市立大・院薬・細胞分子薬効解析）

コメンテーター： 高井 真司（大阪医科薬科大・医・薬理）

コメンテーター： 西谷（中村）友重（和歌山県立医科大・医・薬理）



C-1-1

左心性疾患に伴う肺高血圧症モデルマウスにおけるカルシウムシグナルの亢進

13:40

○松本 和幸¹、近藤 るびい¹、鈴木 良明¹、山村 彩²、山村 寿男¹

¹名古屋市立大・院薬・細胞分子薬効解析、²愛知医科大・医・生理



C-1-2

可溶性グアニル酸シクラーゼ刺激薬が虚血性急性腎障害に及ぼす影響

13:52

○村本 聡史、中川 恵輔、杉山 美羽、井上 悠、佐々木 里真、北條 賢太郎、田和 正志、大喜多 守

大阪医科薬科大・薬・病態分子薬理



C-1-3

Roxadustat がラット胸部大動脈の血管緊張調節に及ぼす影響

14:04

○中川 恵輔、大柴 依子、田和 正志、大喜多 守

大阪医科薬科大・薬・病態分子薬理

C-1-4

タバコ煙抽出物（CSE）は、ラットおよびヒトiPSC由来心筋細胞において細胞内Ca²⁺動態異常とミトコンドリア機能障害を介して、収縮・拍動障害および細胞死を誘導する

14:16

○安田 純平、松村 早季子、納富 拓也、陳 以珊、西谷（中村）友重

和歌山県立医科大・医・薬理学講座

C-1-5

希少糖アリトールは生体内で浸透圧活性を有する

14:28

○大藪 公平、Hossain Akram、藤澤 良秀、Rahman Asadur、北田 研人、西山 成

香川大・医・薬理学



C-1-6

慢性血栓塞栓性肺高血圧症におけるhistidine-rich glycoproteinおよびsoluble receptor for advanced glycation end-productsの量的変動

14:40

○出石 恭久^{1,2}、木山 和子²、小川 愛子²、北村 佳久¹、松原 広己^{2,3}

¹就実大・薬・薬物治療学、²岡山医療セ・臨研、³岡山医療セ・循内

C-1-7

一酸化窒素がアデニン腎障害ラットのインドキシル硫酸産生増加におよぼす影響

14:52

○小淵 修平、鄭 慶実、林 優成、山崎 怜奈、上田 晴康

兵庫医科大・薬・薬理

C 会場

15:10-16:22 一般演題 (口演) 末梢神経・中枢神経
座長: 森岡 徳光 (広島大・院医・薬効解析)
座長: 川畑 篤史 (近畿大・薬・病態薬理)
コメンテーター: 小泉 修一 (山梨大・院医・薬理)
コメンテーター: 木口 倫一 (和歌山県立医科大・薬・生体機能解析)



C-2-1

15:10



抗がん剤 vincristine 誘起末梢神経障害の発現におけるマクロファージおよび Schwann 細胞由来 HMGB1 と局所血液凝固系の相反する役割

○迫 桃子¹、青木葉 優衣¹、谷津 健太¹、関口 富美子¹、坪田 真帆¹、友野 靖子²、西堀 正洋²、川畑 篤史¹

¹近畿大・薬・病態薬理、²岡山大・院医歯薬・創薬研究推進

C-2-2

15:22

HMG-CoA 還元酵素阻害剤は GST を介して抗がん剤誘発性機械的刺激応答閾値低下を改善する

○相澤 風花^{1,2}、岡林 亜美²、森山 大嗣²、八木 健太^{2,3}、新村 貴博^{2,3}、合田 光寛^{1,2}、石澤 有紀^{2,4}、川田 敬^{2,5}、石澤 啓介^{1,2,3}

¹徳島大学病院・薬剤部、²徳島大・院医歯薬・臨床薬理学分野、³徳島大学病院・総合臨床研究センター、⁴医療法人倚山会・田岡病院・総合臨床科、⁵徳島大・院医歯薬・臨床薬学実務教育学分野

C-2-3

15:34

マクロファージ・ミクログリアの性差と神経障害性疼痛形成機構

○雑賀 史浩^{1,2}、木口 倫一²

¹宝塚医療大学・和歌山保健医療学部・リハビリ、²和歌山県立医科大・薬・生体機能解析学

C-2-4

15:46



変形性膝関節症での疼痛遷延化に対する海馬ミクログリアの活性変化の関与

○山本 健太、中島 一恵、中村 庸輝、森岡 徳光

広島大・院医系・薬効解析

C-2-5

15:58



ジンジバリス菌由来リポ多糖類 (LPS) 刺激によるミクログリアにおける IL-1b 産生に対する b-ディフェンシン 3 の抑制メカニズムの解析

○井上 瑛里加¹、湊崎 紫陽¹、小田 康祐²、野中 さおり²、中西 博²

¹安田女子大・薬、²安田女子大・薬・薬理学分野

C-2-6

16:10

代表的な歯周病菌「ジンジバリス菌」が分泌する外膜ベシクル (OMV) による脳ならびに腸バリア機能の破綻メカニズムの解明

○野中 さおり、中西 博

安田女子大・薬

C 会場

16:30-17:42 **一般演題（口演） 消化器・呼吸器**
座長： 池田 康将（徳島大・院医歯薬・薬理）
座長： 関 貴弘（姫路獨協大・薬・薬理）
コメンテーター： 人見 浩史（関西医科大・医・iPS 再生医学）
コメンテーター： 東 泰孝（大阪公大・獣医・薬理）



C-3-1 ランソプラゾールはイソニアジドによる肝障害を軽減する

16:30



○大瀧 翔太¹、若井 恵里¹、白水 崇¹、小岩 純子¹、田丸 智巳²、西村 有平¹
¹三重大・医・統合薬理学、²三重大学医学部附属病院・臨床研究開発センター

C-3-2 非アルコール性脂肪性肝疾患モデルに対するD-cysteine の効果

16:42

○関 貴弘^{1,2}、那須 健斗²、前田 仁志³、今野 歩⁴、人羅 菜津子²、倉内 祐樹²、
平井 宏和⁴、渡邊 博志⁵、丸山 徹³、香月 博志²
¹姫路獨協大・薬・薬理、²熊本大院・生命・薬物活性、³熊本大院・生命・薬剤、⁴群馬大院・
医・脳神経再生、⁵熊本大院・生命・医療情報

C-3-3 シトリン欠損症患者由来 iPS 細胞を用いた尿素サイクル異常症の病態肝モデル作製

16:54

○人見 浩史¹、岡野 舞^{1,2}、下村 優衣¹、金子 一成²
¹関西医科大・医・iPS 再生医学、²関西医科大・医・小児科

C-3-4 ケモカイン受容体 CCR6 は IL-17A 産生細胞の遊走を介して劇症肝炎病態を制御する

17:06



○坂東 政充、原 雄大、竹中 美貴、松尾 一彦、中山 隆志
近畿大・薬・化学療法学研究室

C-3-5 低重力下における消化管と骨髄における鉄動態の検討

17:18

○池田 康将¹、船本 雅文¹、安田 英紀¹、今西 正樹²、土屋 浩一郎²
¹徳島大・院医歯薬・薬理学、²徳島大・院医歯薬・医薬品機能生化学

C-3-6 塩酸誘発性急性肺障害におけるインターロイキン-19 の新規的役割について

17:30

○東 泰孝
大阪公大・獣医・薬理

D 会場

13:40-15:04 一般演題 (口演) 骨・関節・循環器
座長： 大喜多 守 (大阪医科薬科大・薬・病態分子薬理)
座長： 土屋 浩一郎 (徳島大・薬・医薬品機能生化学)
コメンテーター： 田中 智之 (京都薬科大・薬・薬理)
コメンテーター： 木内 祐二 (昭和大・医・薬理)



D-1-1 Pyruvate dehydrogenase kinase 1は骨肉腫幹細胞の細胞特性を制御する

13:40

○田中 優妃、徳村 和也、檜井 栄一

岐阜薬科大・薬・薬理学研究室



D-1-2 軟骨無形成症モデルマウスに対するCDK8阻害剤の治療効果の検討

13:52

○久保 拓也¹、貞盛 耕生¹、山本 めぐみ²、北尾 達哉²、白波瀬 弘明²、檜井 栄一¹

¹岐阜薬科大・薬・薬理学研究室、²京都薬品工業



D-1-3 糖尿病合併心不全に対する漢方薬五苓散の抑制効果

14:04

○廣瀬 駿次¹、船本 雅文²、今西 正樹¹、安田 英紀²、池田 康将²、土屋 浩一郎¹

¹徳島大・薬・医薬品機能生化学分野、²徳島大・院医歯薬・薬理学分野



D-1-4 Single-cell RNA-seq データセットを用いた変形性関節症における細胞老化と糖鎖修飾の関連性の検討

14:16

○吉本 誠、徳村 和也、檜井 栄一

岐阜薬科大・薬・薬学科



D-1-5 抗PD-L1抗体による炎症性関節炎の滑膜線維芽細胞における病態解明

14:28

○細沼 雅弘¹、中野 僚太²、豊田 仁志¹、篠内 良介³、船山 英治³、磯部 晃¹、木内 祐二¹、吉村 清⁴

¹昭和大・医・薬理学講座 医科薬理学部門、²昭和大・薬・基礎医療薬学講座生理学部門、³昭和大・薬・基礎医療薬学講座薬理学部門、⁴昭和大・臨床薬理研究所・臨床免疫腫瘍学部門

D-1-6 可溶性グアニル酸シクラーゼ活性化薬のブタ冠動脈および冠静脈に対する弛緩作用の比較

14:40

○田和 正志、中川 恵輔、大喜多 守

大阪医科薬科大学・薬・病態分子薬理

D-1-7 フルオロキノロン系抗菌薬による大動脈疾患リスクに関する2つの矛盾

14:52

○石澤 有紀^{1,2}、宮田 晃志²、辻中 海斗^{2,3}、糸数 柊人²、宮田 辰巳²、近藤 正輝^{2,3}、新村 貴博^{2,4}、吉岡 俊彦^{2,3}、相澤 風花^{2,3}、八木 健太^{2,4}、川田 敬⁵、合田 光寛^{2,3}、石澤 啓介^{2,3,4}

¹(医)倚山会 田岡病院・総合診療科、²徳島大・院医歯薬・臨床薬理学分野、³徳島大学病院・薬剤部、⁴徳島大学病院・総合臨床研究センター、⁵徳島大・院医歯薬・臨床薬学実務教育学分野

D 会場

15:10-16:22 一般演題 (口演) がん・シグナル伝達
座長： 富田 修平 (大阪公立大・医・分子病態薬理)
座長： 大矢 進 (名古屋市立大・院医)
コメンテーター： 金井 好克 (大阪大・院医・生体システム薬理)
コメンテーター： 藤野 裕道 (徳島大・院薬・生命薬理)



D-2-1 Protein kinase Aが制御するEP4受容体シグナル伝達メカニズムの解明

15:10



○柳川 瞬矢¹、東山 晃子¹、福島 圭穂¹、Regan John W²、藤野 裕道¹

¹徳島大・院薬・生命薬理学分野、²Dept. Pharmacol. & Toxicol., Coll. of Pharm., The Univ. of Arizona

D-2-2 EP4プロスタノイド受容体下流の大腸がん原因因子の同定と誘導メカニズムの解明

15:22



○小西 勇夢¹、福島 圭穂²、Regan John W³、藤野 裕道⁴

¹徳島大・院薬・生命薬理学分野、²徳島大・院薬・生命薬理学分野、³The University of Arizona・College of Pharmacy・Department of Pharmacology and Toxicology、⁴徳島大・院薬・生命薬理学分野

D-2-3 ヒト前立腺がんLNCaPスフェロイドモデルにおけるCa²⁺活性化K⁺チャネル阻害によるユビキチンリガーゼFBXW7の活性化

15:34

○大矢 進、鬼頭 宏彰、梶栗 潤子、山口 陽平、松井 未来
名古屋市立大・院医

D-2-4 がん細胞におけるアミノ酸トランスポーターLAT1の阻害はp38 MAPK活性化を介したサイクリンD1の下方制御によりG0/G1期からS期への移行を抑制する

15:46



○Zhou Xinyu¹、大垣 隆一^{1,2}、Jin Chunhuan¹、Xu Minhui¹、岡西 広樹¹、遠藤 仁³、金井 好克^{1,2}

¹大阪大・院医・生体システム薬理、²大阪大・先導的学際研究機構・生命医科学融合フロンティア研究部門、³ジェイファーマ株式会社

D-2-5 マクロファージの低酸素誘導因子発現が腫瘍組織環境へ与える影響についての検討

15:58



○平川 遼、松永 慎司、徳留 健太郎、本間 拓二郎、富田 修平
大阪公立大・医・分子病態薬理学

D-2-6 Bcr-Abl阻害剤に対する慢性骨髄性白血病細胞の耐性獲得メカニズムの探索

16:10

○八木 健太¹、今若 清香²、高岡 麻佑²、岡本 尚大^{2,3}、相澤 風花^{2,3}、新村 貴博^{1,2}、合田 光寛^{2,3}、川田 敬^{2,4}、石澤 有紀^{2,5}、石澤 啓介^{1,2,3}

¹徳島大学病院・総合臨床研究センター、²徳島大・院医歯薬・臨床薬理学分野、³徳島大学病院・薬剤部、⁴徳島大・院医歯薬・臨床薬学実務教育学分野、⁵医療法人倚山会・田岡病院・総合臨床科

D 会場

16:30-17:42 一般演題 (口演) 細胞・感覚器・新技術
座長： 日比野 浩 (大阪大・院医・薬理)
座長： 上山 健彦 (神戸大・バイオシグナル総合研究セ・分子薬理)
コメンテーター： 今井 由美子 (医薬基盤・健康・栄養研・ヘルス・メディカル微生物研究セ)
コメンテーター： 西村 有平 (三重大・院医・統合薬理)



D-3-1 S-ニトロシル化修飾による G3BP1 のストレス顆粒形成制御と細胞保護作用

16:30



○伊藤 和、久保田 翔、高杉 展正、上原 孝
岡山大・院医歯薬・薬効解析学

D-3-2 IRE1 α 特異的酸化修飾阻害薬の開発とその抗細胞死効果

16:42



○黒木 春那¹、Zhang Kam²、Kumar Ashutosh²、阿部 匠³、澤田 大介³、上原 孝¹
¹岡山大・院医歯薬・薬効解析学、²理研・生命機能科学研究セ・構造バイオインフォマティクス、³岡山大・院医歯薬・精密有機合成化学

D-3-3 パルミトイル化修飾酵素 DHHC タンパク質の新規活性測定法の開発と機能解析

16:54

○足立 直子¹、Hess Douglas T.²、上山 健彦¹
¹神戸大・バイオシグナル総合研究センター・分子薬理分野、²Case Western Reserve University・ITMM

D-3-4 トリコプレインによる一次線毛形成制御の組織損傷再生における役割について

17:06

○白水 崇、稲垣 昌樹、西村 有平
三重大・院医

D-3-5 高速スキャン型スペckルノイズ変調 OCT によるイメージ像の鮮明化

17:18

○太田 岳¹、小野 和也¹、日比野 浩^{1,2}
¹大阪大・院医・薬理学講座統合薬理学、²AMED・AMED-CREST

D-3-6 ダイヤモンド電極による薬物モニタリングシステムの構築とその臨床応用への展望

17:30

○日比野 浩¹、Ahmad Norzahirah Binti¹、柴山 礼寛¹、緒方 元気²、齋木 琢郎³、西條 康夫³、栄長 泰明²
¹大阪大・院医・統合薬理、²慶應義塾大・理工・化学科、³新潟大・院医歯・腫瘍内科